

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 31 日作成)

委員会名	市民・子ども教育小委員会	主 査 名：稲葉武司
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育委員会	委員長名：西谷 章
設 置 期 間	2003 年 4 月 ～ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	大人や子どもを対象とした人工環境（具体的には建築・都市など）の教育のあり方と今後の進むべき方向について調査研究を行い、人工環境教育のためのガイドラインを提案する。	
委員構成 (委員名 (所属))	稲葉 武司 建築と子供たち、諫見 泰彦 福岡市立博多工業高等学校 石黒 豊明 (株)PLAN21、三枝 頼子、市原市役所、佐久間 博 (有)アトリエ佐久間、篠部裕 呉工業高等専門学校、壽崎 かすみ 龍谷大学、鈴木 明 神戸芸工大、鈴木 賢一 名古屋市大、十代田 知三 芝浦工大、富樫 豊 富山建築・デザイン専門学校、永瀬 克己 法政大 早川 典子 東京都江戸東京博物館、山口 邦子 共立女子大	
設置 WG (WG 名：目的)		
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会毎月一回 出席率 70%
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 内外における「人工環境教育」の実態調査 (委員活動の基礎資料の構築)</p> <p>(2) 国際建築家連盟「人工環境教育ガイドライン」訳出 (本会会員に対する人工環境教育についての啓発)</p> <p>(3) 2003 年度大会(東海)研究懇談会開催 (テーマ「市民・子どもと建築をむすぶミュージアム」をとおして博物館教育の役割について啓発)</p> <p>(4) 資料「市民・子どもと建築をむすぶミュージアム」出版</p> <p>(5) 教育支援・学習出張プログラムの事例調査</p> <p>(6) 教育支援・企画、指導方法、マネージなどの事例調査</p> <p>委員会 HP アドレス：http://www.telescoweb.com/kodomotokenchiku/</p>
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 70% 調査範囲のカバーはできたが、調査内容と事例が散漫である。
その他評価すべき事項	電子会議システムの利用により、遠方の委員の参加を実現できた。